



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 28 号
令和 2年10月13日

後期のスタートにあたり

校長 古市 直彦

昨年の秋休みに続き、今年も台風の接近が予想されていましたが、大きな被害もなく、後期の学校生活を始めることができました。前期は、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、学校生活はもとより、3年生の修学旅行や体育祭を無事に実施することができました。直接お会いした際に申し上げたいところですが、このご時世ですので、この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。前期の終業式では、私から生徒の皆さんに、テレビ放送を通して次のような話をしました。

今日で、令和2年度 前期の学校生活が終わります。お疲れ様でしたね。

2ヶ月間の休校あけに始まった学校生活、6月の入学式、3密を避けて行った新しい様式での学校生活、総体の中止、8月も続いた授業、そして、その中でがんばった3年生の修学旅行に、うちわで盛り上げた体育祭など、「かつてない」ことの連続でした。でも、そのそれぞれにおいて皆さんは「かつてない」頑張りを見せてくれましたね。

昨年より2ヶ月遅れて始まった前期でしたが、結果的には、昨年度前期の登校日数より9日短くだけで済みました。それだけ中身の詰まった前期だったといえるのでしょうか。でも、さすがにチョット疲れしましたね。ストレスがたまっている人も多いようで、最近は、友達との人間関係で悩んでいる人も多い…という話も聞いています。

当然ありえることですね。大人でもいろいろストレスがたまっていますから。テレビでは、コロナが直接の原因ではないかもしれませんが、芸能人の方が自ら命を絶った…という報道もされています。とても残念なことです。

皆さんの中に、もし、コロナに関していてもいなくても、とにかく悩みをかかえている人がいたら、ぜひ、先生方に相談してください。もし、先生方にも言いにくいことでしたら、カウンセリングルーム前に、「SOSミニレター」の用紙も置いてありますから、ぜひ使ってください。

そんな皆さんに、今日はある本を紹介したいと思います。本と言っても、コミック（漫画）です。来週から始まる朝読書用としてはさすがに不適切ですが、実にたくさんの事を教えてくれる漫画です。

「宇宙兄弟（講談社）」という本です。小さい頃から宇宙飛行士になることを夢見ていた兄弟（ムッタとヒビト）の物語です。二人が小さい頃、とても影響を受けたシャロンおばさんという人がいるのですが、ある日、少年ムッタがそのシャロンおばさんに、問いかけます。

「人ってさ… 何のために生きてると思う？」

シャロンおばさんは、こう答えます。

そんなつもりはなくても 人はね——

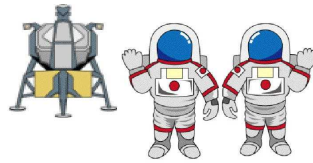
誰かに—— “生きる勇気” を与えるために生きているのよ

誰かに—— 勇気をもらいながら

深いですね。勇気をもらったムッタは、いくつもの試練を乗り越え、宇宙飛行士になっていきます。しかし、シャロンおばさんは、その後、ALSという全身の筋肉の力がなくなってしまう、現在でも治療が難しい病気にかかってしまいます。症状が進行して歩けなくなり、声を出すこともできなくなり、さらには自力で呼吸をすることも難しくなってきそうです。「生きるのが怖い」「生きる意味があるのだろうか」と不安になります。そんなシャロンおばさんに、大人になったムッタが語りかけたのが、次のような言葉です。



この先、怖くなったりして、
“生きる意味”とかに迷っちゃってもさ
最後には必ず“生きる”ことを選んでよ
生きてて欲しいんだよ。



今年の前期、私は皆さんの頑張りに救われました。正直なところ、辛いなあーと感じたのは一度や二度ではありません。でも、皆さんが頑張る姿を見て、自分ももう少し頑張らないかと思えました。体育祭の閉会式では、すこし恥ずかしい姿を見せてしまいましたが、本当に嬉しかったからです。

後期も、withコロナの学校生活は続きますが、また、いっしょに頑張っていきましょう。
そのためにも、よいブレイク、よい秋休みにしてほしいと思っています。

(式では作品の画像を使って話をしましたが、著作権の関係でここでは使えません。載せている画像はイメージです。)

また、3日間の秋休みが明けた本日の始業式では、次のような話をしました。

短い秋休みでしたが、少しはリフレッシュできたでしょうか。今日から、令和2年度 後期の学校生活が始まります。また、頑張りましょうね。

後期は、まず2週間後に迫ってきた合唱コンクールが楽しみですね。各クラスでの練習にも益々力が入ってきそうです。

それと同時にもう一つ、皆さんに頑張してほしいことがあります。それは学習です。3年生は、3週間後に、実質中学校生活最後となる定期テストがあります。1・2年生はあと5週間ちょっとありますが、油断していると前回と同じ反省を繰り返してしまうことになりかねませんよ。先生方も授業を工夫して、皆さんが少しでも楽しく、深く学べるようにしていきたいと思っていますが、基本的に皆さん自身が頑張ってくれないと変わりません。

でも、行事や部活動と比べて、今ひとつやる気が出ない…という人もいるかもしれません。そんな皆さんに、今日は2つの言葉を贈ります。

どちらも、先週、終業式で紹介した「宇宙兄弟」からの言葉です。

一つ目はこれ。主人公ムッタが宇宙飛行士の訓練中、教官のピンスさんに「あなたの敵は誰ですか？」と問いかけられたときの答えです。

俺の敵は、だいたい俺です

自分の『宇宙に行きたい』って夢を

さんざん邪魔して 足を引っ張り続けたのは **結局 俺**でした

宇宙に行きたいという夢を「どうせなれないから…」と夢を忘れたふりをしていた頃を振り返った言葉です。

二つ目はこれ。宇宙飛行士のライバルでもあり、親友でもある真壁ケンジという人に、ムッタが宇宙飛行士の訓練中に言うセリフです。二人のうちどちらか一人だけが月に行けることになり、二人ともいろいろ悩むのですが、結局、ムッタが出した答えがこれでした。

大事なのは結局——“今”だ

今 この訓練が どうやったら最高のもんになるかだけを考えることにした

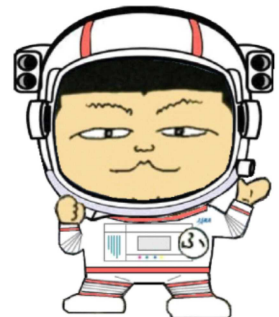
やったことは きっと俺らの力に変わるはず…

だから ケンジ… **ちょっとだけ 無理なことに挑戦してこーぜ**

いろいろなことに悩みながらも、“今”を全力で頑張ることの大切さを教えてくれる言葉です。どちらも、私の大好きな言葉です。勉強以外のことにも応用できそうですね。まあ、無理をしすぎるのは良くないですが。

後期もいろいろなことがあると思います。ここまできても、「かつてない」ことが更に起こるかもしれません。そのときは、また皆さんの力を貸してください。

いっしょに頑張っていきましょう。よろしくお祈りします。



始業式では、各学年の代表生徒が、後期の学校生活に向けての決意も語ってくれました。詳細は、次号で紹介させていただく予定です。

後期も安全に留意ながら、教職員一同で、全力で生徒を応援し、サポートしていきたいと思っています。今学期も、どうぞよろしくお願いいたします。

